

「ゲト戦記を見て、がっかり」

～～監督によってこんなに違うのか？と実感～～

先日、自宅の駅前（八千代緑ヶ丘）にある映画館で「ゲト戦記」を見てきました。
トーホーのコンプレックスが出来たので、月に2～3回は映画を見るようにしています。
EQの時代、右脳の時代と言われているので、「感性」を磨くため必要だと考えています。

さて、公開して3週間が経っていたせいか、プレミアムスクリーンが普通料金で見れるようになっていました。

するとびっくりです！

なんと映画がスタートしても私独りだけ！

独り占めです。

「すごいな！ラッキーかな？」

と思っていました。

しかし映画を見終わった時の感想。

「なんだ！これは？」

あのスタジオジブリ

宣伝も多くしているのに…。

それなりに期待していたのに、内容の乏しさに…がっかりです。

宮崎吾郎監督

親の七光りか？

宮崎駿監督から息子に監督が変わるだけで、こんなに違うものか？

スタッフなどのメンバーは、変わらないはずだが…。

後継者の育成とデビューの難しさを実感した次第です。

親父が偉大なほど、周りは期待が大きいから

「期待された息子」はかわいそうだなと感じました。

もっとデビューにやり方があったはず。

<コメント>

経営と同じですね。

まずは小さなステージで経験を積ませることが必要なんですね。

小さな成功体験を積みませながら、大きな舞台にデビューする、そんなステップが。

今回の宮崎吾郎監督、期待が大きかっただけに…裏切りに感じる。

リーダーによって変わる！

全ての責任と評価はリーダーになる！

後継者育成ステップの重要性を感じた映画でした。